

創エネ神戸 カネカ未来創造館 見学会 2018年10月30日

10月30日AM、2016年にオープンした（株）カネカの研修施設であるカネカ未来創造館を見学しました。最初にプレゼンとQ&Aがあり、次に屋外と屋内の見学を行いました。

建屋の屋根、壁、バルコニーなどに、太陽光発電設備が設置されていました。

創エネ神戸は、山田、福田、水上、富田、今橋、香川、三上の7名が参加しました。



製品化されている太陽電池モジュールは3製品で、太陽電池モジュールを建材と位置付けているのが特徴。また、（株）カネカは、アモルファスシリコン、多結晶シリコン、単結晶シリコン、ヘテロタイプの多くの種類の太陽電池を製造しているのも特徴といえる。

瓦一体型太陽電池モジュール

（製品名：VISOLA ヴィソラ）

薄膜シリコンタイプ、単結晶シリコンタイプがある。

故障した時一つのモジュールだけの交換が可能。



化粧スレート瓦専用太陽電池モジュール

（製品名：SoltileX ソルティレックス）

薄膜シリコンタイプ、多結晶シリコンタイプ、単結晶シリコンタイプがある

取付けは化粧スレートの既存の穴を利用して行うので、防水性を損なわない。



低反射カラー太陽電池モジュール

太陽電池の表面に凹凸を付けて、低反射を実現する技術（防眩モジュール）。
薄膜シリコンタイプに適用している。

防眩モジュールは、陶器の瓦よりも反射率は小さく、垂直な壁面に設置しても反射光の影響が少ない。

ガラスに塗料を混ぜて色をつける技術（赤、緑、青）。橙色も可能だが、発電効率は低下する。



壁のへこみのある部分に設置

塀部に設置

薄膜シースルー太陽電池モジュール

薄膜シリコンタイプに適用しており、薄膜シリコンにレーザーで細かいスリット加工を施す技術。
デザイン性があり、兵庫県庁舎、神戸大学工学部などに設置例がある。

また、バルコニー向けの応用例もある。

10%透過率と25%透過率の製品があり、透過率が大きくなると発電効率は低下する。



バルコニーに設置



拡大図

(写真 文 山田通裕) (写真 三上博之) (編集 岡本紘一)